

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回上尾市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和7年12月9日 午後1時30分から午後2時30分まで
開催場所	上尾市役所議会棟4階 全員協議会室
議長(委員長・会長)氏名	大室 尚
出席者(委員)氏名	大室 尚、矢口 豊人、小幡 雄人、佐々木 典子、山根 博安、 塚田 日出造、角田 美香、今村 恵一郎、齋藤 和宏、川野 茂、村橋 憲、 黒須 喜美雄、津田 ひとみ、小高 進、轟 信一、中村 昭彦
欠席者(委員)氏名	上野 聡一郎、川上 哲夫、根本 やよい、高野 住代、近藤 友恵
事務局(庶務担当)	畑市民生活部長、藤波市民生活部次長、島田保険年金課長、山内副主幹、 小川副主幹、鳥丸主査、池田主査、田中主査、榎主査

会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	<ul style="list-style-type: none"> ・開 会 ・諮 問 ・議 事 (1) (諮問事項) 上尾市国民健康保険税の税率等の改定について ① 国民健康保険税税率の改定について ② 国民健康保険税賦課限度額の改定について ③ 子ども・子育て支援納付金分について (2) 答申について ・報告 上尾市国民健康保険税条例の改正(軽減判定所得の拡大) について ・その他 ・閉 会 	別紙のとおり

議事の経過	別紙のとおり
会議資料	① 令和7年度第1回上尾市国民健康保険運営協議会次第 ② 国民健康保険税税率の改定について(資料1) ③ 国民健康保険税賦課限度額の改定について(資料2) ④ 子ども・子育て支援納付金分について(資料3) ⑤ 年税額(モデルケース)(資料4) ⑥ 答申(案) ⑦ 上尾市国民健康保険税条例の改正(軽減判定所得の拡大)について(資料5)

議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

R7年12月18日

議長(委員長・会長)の署名

議事録署名指名委員の署名

議事録署名指名委員の署名

大室 尚

黒須喜美雄

山根 博安

議 事 の 経 過

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	令和7年度第1回上尾市国民健康保険運営協議会 ・開会 委員の過半数が出席しているため、会議成立していることの報告 会長 あいさつ
事務局	・諮問 市長 あいさつ
事務局	・議事 傍聴人確認(傍聴人1名)
	(1)(諮問事項)上尾市国民健康保険税の税率等の改定について 「国民健康保険税税率の改定について」(資料1)、「国民健康保険税賦課限度額の改定について」(資料2)、「子ども・子育て支援納付金分について」(資料3)、「年税額(モデルケース)」(資料4)に基づき説明
大室会長	今の説明に対し質疑、意見はあるか。
中村委員	税制の改定の案について、令和7年度から令和8年度は支払い額が大幅に増えるという印象である。令和5年度に令和6・7・8年度で段階的に上げていくと説明があったが、その当時に示した引き上げ率・額とほぼ同じ数値になっているのか。
事務局	令和5年度に提示した率よりは、少しずつ上がっているのが現状である。給付費の上昇、75歳以上の人数の増加などにより、医療分の負担が大きくなっていることが要因である。
中村委員	令和5年度当時も、保健事業などに力を入れて、医療費が上がらないように努めてほしいと要望している。今後も、保健事業などを充実させていただきたい。 もう一点、赤字幅の数値について、令和6年度6.6億円が令和7年度に4.4億円になる見込みということか。
事務局	現時点では、赤字幅はこの見込みより少なくなるのではないかと考えている。
轟委員	保険税水準の準統一にあたり、収納率格差が反映されるとのことだが、上尾市の収納率はどのくらいなのか。
事務局	概ね県内で真ん中ぐらいである。
轟委員	今回の引き上げにより、どのくらいの世帯・被保険者が影響を受けるのか。
事務局	全ての方に影響がある。
轟委員	令和9年度の準統一により、保険税率が上がるのか。
事務局	税率については、かかった医療給付費、被保険者人数、被保険者の所得の状況によって、毎年、税率は変動する。
轟委員	上尾市としては、準統一できる見込みか。

事務局	準統一が達成できるよう努めている。
角田委員	医療の高度化により給付費は増加していると説明があったが、具体的にはどのようなことか。
事務局	一例としては、がんの治療は、特効薬的な新薬や放射線治療のような先進的な治療など、様々な高度な医療が年々開発されている。その費用が保険適用の対象になれば、1人あたりにかかる費用が大きくなり、給付費の増加となる。
山根委員	準統一に向けて、各市町村が国保税の改定に取り組んでいるが、準統一後は、医療費などが、保険税に反映されるのか。
事務局	そのとおりである。被保険者の皆様が健康で医療費が抑えられれば、保険税にも影響してくることになる。
山根委員	日本は人口が、現在、減少時代に入っており、将来的には7,000万人ぐらいになってしまうとの予想もある。今後の展望について、埼玉県は検討をされているのか。
事務局	実際には埼玉県というよりは、国で考えられているところである。人口減少による社会保障のあり方について、様々な議論がされており、上尾市としても動向を注視している。
小幡委員	保険者として、医療費の抑制のために、どのような努力をしているのか、また、保険加入者に対してどのようなことに協力してほしいのか教えていただきたい。
事務局	<p>医療費の抑制のために、重複受診や多数受診等に関する啓発事業を行っている。同じ病気で複数の医療機関を受診している方、同じ薬を何回も複数の医療機関から処方されている方など、レセプトなどから調査を行い、本人に通知し、啓発を行っている。</p> <p>その他に、フレイル予防の取り組みなどを行っている。高齢介護課や健康増進課と一体として健康のために取り組む事業を進めている。</p> <p>被保険者の皆様には、特定健診に積極的に参加するなど、長く健康であるように努めていただくことが、医療費の抑制に繋がると認識している。</p>
中村委員	子ども・子育て支援納付金分について、暫定値とあるが、埼玉県から示された数値を上尾市としてそのまま適用し、改定するという理解でよいのか。
事務局	そのとおりである。埼玉県が標準保険税率として、子ども・子育て支援納付金分の数値を提示する。その数値を上尾市が保険税に反映させることになる。
中村委員	上尾市としては、独自で税率を設定するわけではないということですか。
事務局	制度的には全くできないことはないが、埼玉県が標準保険税率として赤字にならない数値を提示する以上、実際に独自で税率を設定することは困難である。
大室会長	<p>他に質疑、意見がないようなので、ここで運営協議会としての意見を取りまとめる。</p> <p>議事1 諮問事項、上尾市、国民健康保険税の税率等の改定について、令和8年度の国民健康保険税の税率および賦課限度額については、事務局案のとおり改定することに賛成の方は挙手をお願いする。</p> <p>(採決)</p>
大室会長	挙手多数である。よって本件については国民健康保険税率および賦課限度額を、事務局案のとおり改定することが適当である旨の答申に盛り込むこととする。

	<p>なお、議事1につきましては答申に盛り込むべき付帯意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p>
大室会長	<p>特に付帯意見がないようなので、議事1について審議終了とする。</p>
事務局	<p>(2) 答申について 「答申(案)」に基づき説明。</p>
大室会長	<p>今の説明に対し、質疑・意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p>
大室会長	<p>議事2 答申について、事務局案のとおり答申することに賛成の方は挙手をお願いする。</p> <p>(採決)</p>
大室会長	<p>挙手多数である。 それでは答申は後日、会長と矢口会長代理にて畠山市長に答申をさせていただく。 市長への答申が終わりましたら委員の皆様には答申書の写しを送付する。 それでは議事2について審議終了とする。</p>
事務局	<p>・報告 上尾市国民健康保険税条例の改正(軽減判定所得の拡大)について 上尾市国民健康保険税条例の改正(軽減判定所得の拡大)について(資料5)に基づき説明。</p>
大室会長	<p>今の説明に対し、質問等はあるか。</p> <p>(質問なし)</p>
事務局	<p>・その他 次回の協議会は3月下旬を予定している。日程決定後、2月中旬を目安に改めて連絡する。</p>
事務局	<p>・閉会 会長代理 あいさつ</p>
	<p>以上</p>